

## 19 画像で見る世界の宗教と哲学

〈4コマ〉

よしだ ひろあき  
吉田宏哲

大正大学名誉教授  
博士（文学）  
真言宗智山派宥勝寺住職



[日 時] 6月4日(月) 13:30~15:00, 15:20~16:50  
6月5日(火) 10:30~12:00, 13:30~15:00

[テキスト] レジユメ配布  
中村元『普遍思想』（春秋社）

[受講料] 5,800円  
(早割 4,800円 ※5月28日までに受講料を納入された場合)

今日の世界はイスラム過激派のテロと、北朝鮮の核ミサイル開発の対応に明け暮れている感があります。そしてこの対応は一步誤れば世界の破滅にもなりかねない様相を呈していて、誰しも無関心ではられない事態であると言えましょう。ところで、テロや戦争は必ず誰かの死傷を引き起こしますが、テロや戦争で死ななくても、人間は誰でも必ず自分や、自分の愛する者の死を迎えなければなりません。したがってこれにどう向き合うかとか、どのように対処するかは、今健康な人でも、今幸せな人でも、老若男女を問わず、必ず直面しなければならない問題だと思います。

けれども実際には私たちは、今、差し迫った目の前のこと以外には、なかなか目を向けるということをしていません。特に若くて健康な人は自分の死などは遠い先の話だと思っていますから、今をどう生きるかに腐心して、自分の老病死について真剣に考えることもないと思います。したがって死についての方策である宗教についても、無関心、無知である人が殆どでしょう。

しかし、自分の死は必ずやってきますし、突然、自分の身内や、親友が亡くなることがあります。その時、その悲しみをどう乗り越えるか、これに対する回答の提示が宗教だと思っています。そこでこの講義では画像を用いて、世界の宗教の違いとその特徴を明らかにしたいと思います。

また死を考えることは生を考えることですから、世界の哲学や倫理、科学についても宗教との関連で講義する予定です。

### 目次

- 1 宗教の起源
- 2 民族宗教と普遍宗教
- 3 死後身体はどうなるかについての二種類の考え。輪廻転生と復活
- 4 仏教の解決
- 5 諸宗教の歴史的な考察
- 6 宗教と哲学と科学
- 7 仏教の伝播と理論的な展開（中観・唯識・如来蔵）
- 8 中国の儒教と道教と仏教
- 9 日本の神道と仏教
- 10 救いと悟り